

文京区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちよ町会見聞録

第13回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



災害に備えた防災訓練を 中心に、若い世代とも 積極的に親睦を深める

掲示板やホームページにより、町会の情報を幅広くアピール

目白台雑司ヶ谷町会 会長 窪田 新一さん

親睦を深めることを大切にしています。町会にはさまざまな情報が入ってきますが、皆さんに知っていただくことも大事だなと思っていて、その方法の1つとして掲示板を活用しています。17力所ある掲示板に、近隣の催し物のお知

30年くらい前までは不忍通り沿いの商店街も活気があったのですが、今では町会のほとんどが住宅地です。新しく戸建ができる若い方が引越していらして町会に加入するので、若い世代の方も増えています。皆さんお忙しいですが、休日の行事には参加してくださる方もいらっしやいますね。

町会の情報の周知に 掲示板を有効活用



●目白台雑司ヶ谷町会

昭和26年4月に結成。現在では、町会エリアのほとんどを住宅地が占め、世帯数は約1050。そのうち、町会に加入している世帯数は約700。年間の主な行事は、防災訓練、ラジオ体操、バスハイク、夜警、交通安全運動など。



さまざまな情報が満載の掲示板。雨で破れてしまわないように、透明のビニール袋に入れて掲示している。

活動の中で一番力を入れているのは、地震への備えです。ご高齢の方の安否確認をしたり、「二時集合場所」を4力所設けて、そこに集まってからどうするか判断するといった訓練を行っています。「防災ハンドブック」も町会で作成し

らせや警察、消防のポスターのほか、毎月、自分たちで作成した「町会ニュース」を掲示して、町会の行事も告知・報告しています。若い方たちへのアピールとしては、文京区の「どっとファミコム」というサイトを活用して、目白台雑司ヶ谷町会のページも開設しました。町会のメールアドレスも掲載しているので、メールでご連絡いただくこともありますね。掲示板も、ホームページも、放置するのはみづともないので、ちゃんと管理するように気をつけています。

防災ハンドブックの配布 など、意識向上に努める



防災訓練には、毎回120名ほどが参加する。防災ハンドブックを配布し、情報を共有。

また、町会のエリア内に、東京大学の留学生向けの宿舍が建設中です。秋ごろには完成して約700人ほどの留学生の方が入居されるということなので、町の様子にも変化があるのかなと思っています。

そのほかにも、希望者を募ってバスでの半日旅行を行ったり、入学祝いのほか、敬老の日にお赤飯、子どもの日にお菓子を配ったりしています。年末には火の用心と防犯を呼びかける夜警も恒例です。町会の活動を通して、地域の親睦を深めていきたいですね。

町会の活動を通して、 地域の親睦を深めたい

ました。いざというときにはバタバタしてしまうと思うので、実際の安否確認の手順など、基本的なことをまとめています。町会の皆さんにも配布していますので、防災の意識を高める一助になればと考えています。